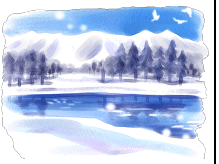


心のスイッチ



丹波市立柏原中学校
生活指導通信

No. 二十八
令和六年二月一日
(文責 足立 進)

誰もが安心して過ごせる学校を

誰もが意識して生活してください

どの学年やクラスを見ても、身勝手な行動をしたり、嫌なことをしたり言ったりするような人はほとんどいないのですが、それでも、もう少し意識してほしいところがあったり、意識をしてほしい人がいたりしますので、書いておきます。

① ふざけたりいじめられたりしないこと

先週、一年生の中で、同じ生徒が同じ日に二度ケガをするということがありました。大きなケガではありませんでしたが、大変な事故につながりかねない危険な行為であったと心配するとともに、「いじめではないか」と心配し、聴き取りも行いました。

体も大きくなり、力も強くなっている中で、幼稚なじゃれ合いやふざけ合いをしていると大変な事故に遭うことを、以前にも「大学生の死亡事故」を例に上げて書きましたが、理解できていない生徒がいたようです。

特に一年生の一部に、「しつこく」ふざける「じやれあう」「からかう」ことによる遊びが、まだ残っています。そんなことをしないと楽しむことができない「幼稚さ」や「自信のなさ」から卒業してほしいと思っています。

② トイレに溜まるのは禁止!

トイレはデリケートな場所であるだけに、誰もが使いやすいように、みんなで配慮しなければなりません。番号前にも同じことを書いています。今後は、トイレの中で話し込んだり、溜まつたり、鏡の前で長時間髪を整えていたりすることが、絶対ないようにしてください。

また「先生に見つからなければよい」とだけ考えている人がいたとすると、それは大変な間違いです。自分と同じ立場にある他の生徒に迷惑をかけて平気であるような甘い意識の人が、今後はいなくなることを望みます。

また、自分たちの学年のトイレは自分たちで守るつもりで、「トイレで溜まることを許さない雰囲気」をつくってほしいと思っています。

③ 入学説明会の際に確認してほしいこと

明日、町内の小学六年生を招いて「入学説明会」を行います。その際に使う冊子に、「中学校生活で守ってほしいこと」として、次のような項目を設けて伝えていきます。

中学校の先生は怖い?何をしたら叱られる?

中学校の先生が特別に怖いということはありません。理由もなく叱られるということはありません。ただ、小学校の先生から教えていただいた「当たり前」に守らなければならないことが、守れなければ、小学校時代より大人に近づいた分、より厳しく注意されるのは当たり前だと思っておくべきです。例えば、①④に書いておきます。

① 友達や同級生を言葉や暴力で傷つけたり仲間外れにしたりした時。

② 一歩間違えば、大きなケガにつながる、命に関わったりするような遊びや冗談をした時。

③ 怠ける方向に友達を引っ張ろうとしたり、クラスや個人の目標に向かって、真面目に取り組もうとしない時。

④ 学校や社会の規則やルールを守らなかった時。

六年生の児童に「これだけは、ちゃんとしてよね」と呼びかけていることが、まだできていない柏中生はいないでしょうか。あらためて意識して守るようにしてください。

④ だれかの楽しみのために

誰かが犠牲になるのはダメ

「誰かをからかったり、笑いものにしたたりして楽しむこと」が卑劣で許せない行為であることは、よく理解していると思います。

しかし、先週の木曜日(雪が積もっていた日)に、こんなことがありました。

雪が積もったことが、すごく嬉しかったようで、休み時間になる度に歴史の庭に出て雪合戦をしている、微笑ましい光景がありました。

しかし、靴や服に雪をつけたまま校舎内に入ったため、一階昇降口付近がびしょ濡れになってしまっていました。そして、その状態を見かねて多くの先生方や付近にいた生徒たちが拭き掃除をしてくれました。一部の人の楽しみの後始末のために何人も生徒や先生が余分な掃除をしなければならなかったのです。「後始末」や「上靴・下靴のけじめ」がつけられないのであれば、遊びが制限されるようになり、新たな禁止事項が生まれたりするのです。人に迷惑をかけないで、上手に遊べるといいですね。

高校入試を前に困っています

コツコツと良い生活習慣を身につけ、着実に積み上げることができていないと、人生で初の壁である「高校入試」の前に、困ることがたくさん起きてきます。学力が身につけていないと、志望する高校の受験を断念しなければならぬことになってしまいますが、受験校が決まってから、受験準備の中で困っている三年生がいます。

一・二年生には、今後に向けて、三年生には、今からでも意識してほしいことを書いておきます。



① 今やるべきことは後回しにしない

進路の書類は進路担当者である土田先生が余裕を持って早く取り組ませてくださっているのですが、それでも、締め切り日に間に合わず、最終的に保護者に慌てて持ってきてもらおうということが起こっています。「今やるべきことは後回しにしない」ができていますか?

② 提出書類が第一印象を決める

美しい字は書けなくても、丁寧な字は誰もが書けるはずですが、提出書類は相手が読みやすい、丁寧で濃い字で書けているでしょうか?三年生の中には、「字が乱暴」「字が薄い」「字が小さい」と、何度も何度も書類の書き直しをしている生徒がいます。

③ 作文や感想文は機会ごとに真面目に

三年生の中には、たった二百文字程度の「面接調査票」や「志望理由書」が、何日も書けず、何回もやり直しになっている生徒がいます。また「小論文テストの練習」が一向に進まない生徒もいます。日頃からの感想文や作文に真面目に取り組んでいなかったことが、今重くのしかかっているのです。

後期生徒総会から

一月三十日の午後、ストーブは焚いてあったものの、少し寒い体育館の中ではありましたが、温かみで前向きな雰囲気の下、後期生徒総会が行われました。

総会が始まる前の昼休みに、執行部のメンバーが「泣きそうになつてきた」と語り合っていました。この一年間の苦勞を振り返り、「やり切った」という思いと、同じ方向を向いてよく協力してくれた全校生への感謝の思いが、そんな感情になったのだと思います。

生徒会執行部の頑張りを称えながらも、更に関心する学校を住みやすく、そして誇れるものにしてほしいという思いがたくさん出た素晴らしい後期生徒総会でした。